

第5回仙台市総合計画審議会 追加意見

【姥浦委員】

- 全体として、個別既述のところでは「掛け合わせ」にもっと踏み込んでもいいような気がする。逆の言い方をすると、総論で「掛け合わせ」「相乗的な効果」が重要と言いつつ、各論では施策にとどまっている。
- 例えば、「環境」に大学との連携を入れることで「学」とのつながりになるし、それを活かした産業振興やブランド化は「活力」とのつながりになる。整理段階や最終アウトプットでは、「単発施策」とそれに紐づく「掛け合わせ施策」を分けて整理するというのも手かもしれない。後者の方は例示的なものになるのかもしれない。いずれにせよ、まだ全体的な印象として仙台らしい、仙台の地域資源を活かした「掛け合わせ」にまで行っていないような気がする。
- (11 ページ)「安全安心な居住環境」→「安全安心で快適性・利便性の高い居住環境」に修正する。タイトルの【快適な住環境の確保】との整合性をとる。
- ・(12 ページ)「自死事案を背景としたいじめの問題」というのは、日本語として不思議な感じ。「自死事案の発生にまで至ってしまった」とか表現を検討すべき。
- ・(12 ページ)「地域社会全体で見守る環境づくり」→「地域社会全体で子どもを見守る環境づくり」に修正する。
- ・(13 ページ)「大学間の連携」を入れてもいい。COC、学都コンソーシアムなどをさらに活性化させていく。
- ・(14 ページ)【イノベーションによる成長促進】のところに「大学との連携」が入ってもいい。
- ・(15 ページ)「老朽化した建物の更新」→「老朽化した建物の改修・更新」に修正する。リノベーション+建て替え/再開発ということで。
- ・(15 ページ)「中心部商店街の再生」は「中心市街地のさらなる活性化」くらいでもいいかと思うが、危機感をあおるといった積極的な意図があるのであればこのままでもいい。